

とびっく

日本代表チームの活躍で沸いたサッカーのワールドカップ（W杯）。川崎市のスポーツ少年団が有力選手を何人も輩出したことも話題となりました。しかしこうした地域クラブの多くは低予算で、十分な練習環境を整えることができない事態に直面しています。

そんな中、11月に宮城県利府町でポイント制の地域支援サービス「Pocci！（ポッチ）」がスタートしました。このサービスは町内の協賛店を会員個人が利用するたび、会員のスマートフォンアプリに店舗からポイントが付与される仕組みになっており、ためたポイントでスポーツ少年団や劇団、子ども食堂など、

選手育成を地域ぐるみで

任意の地域団体を選んで支援することができます。

会員企業もまた事業活動で出た段ボールなどを回収してもらおうことで、製紙会社への売却益のうち1キロ当たり1円分を、応援したい地域団体にポイント還元することができるようになっています。市民や企業が一体となって地域の非営利活動を支えるこの仕組み。資源物回収・リサイクル業を核とする仙台市の企業グループが利府町と連携しデザインしました。

ポッチのサイトは地域団体の登録促進と紹介にも力を入れており、野球やサッカーに興じ夢を追いかける子どもたちの笑顔あふれるページを見ると、思わず応援したくなります。選手育成の裾野を地域ぐるみで広げるこうした取り組みが定着し、世界的に活躍する人材が続々と生まれることを願ってやみません。